

## <特別養子縁組成立>

### 1 概要

家庭裁判所は、申立てにより、養子となる者とその実親側との親族関係が終了する養子縁組（特別養子縁組）を成立させることができます。

特別養子縁組とは、原則として6歳未満の未成年者の福祉のため特に必要があるときに、未成年者とその実親側との法律上の親族関係を終了させ、実親子関係に準じる安定した養親子関係を家庭裁判所が成立させる縁組制度です。そのため、養親となる者は、配偶者があり、原則として25歳以上の者で、夫婦共同で養子縁組をする必要があります。また、特別養子縁組の離縁は原則として認められていません。

### 2 申立人(申立てができる人)

養親となる者

### 3 申立先

#### 養親となる者の住所地の家庭裁判所

養親となる者の住所地が京都府内の場合の申立先は、次のとおりです。

(養親となる者の住所地)	(申立先)
下記以外の市町村	京都家庭裁判所
南丹市（旧美山町を除く）、亀岡市、船井郡	京都家庭裁判所園部支部
舞鶴市	京都家庭裁判所舞鶴支部
宮津市、京丹後市、与謝郡	京都家庭裁判所宮津支部
福知山市、綾部市	京都家庭裁判所福知山支部

養親となる者の住所地が京都府以外の場合の管轄については、[裁判所ウェブサイト](#)の[裁判所の管轄区域](#)をご覧ください。

### 4 申立てに必要なもの ※1

チェック欄

①	収入印紙・・・養子となる者1人につき800円分	
②	連絡用の郵便切手・・・ 84円切手×20枚 10円切手×5枚 1,089円分切手×申立人数組	
③	申立書1通・・・【申立書】・【記載例】を参照 ※2	
④	養親となる者の戸籍謄本（全部事項証明書）※3※4	
⑤	養子となる者の戸籍謄本（全部事項証明書）※3※4	
⑥	養子となる者の実父母の戸籍謄本（全部事項証明書）※3※4	

- ※1 ここに記載しているものは、審理のために標準的に必要なものであり、事案によってはこの他の書類等の提出をお願いすることがあります。
- ※2 住所欄の電話番号は、昼間に連絡のとれる番号を記入してください（携帯電話の番号でも可）。
- ※3 戸籍謄本（全部事項証明書）は3か月以内に発行されたものを提出してください。
- ※4 同じ書類は1通で足りません。

## 5 その他

【郵送提出の場合の宛先（支部を管轄とするものを除く。）】

郵便番号 606-0801

京都市左京区下鴨宮河町1番地

京都家庭裁判所 家事申立受付（事件係） あてに送付してください。

【問い合わせ】

電話番号 075-722-7211（代）

京都家庭裁判所 家事申立受付（事件係）（受付後は担当の係にお問い合わせください。）